

誰でも簡単に使える！

AIくずし字認識アプリ「みを」



どんな研究？

- ディープラーニングによるAIくずし字認識をスマホアプリから利用。
- iOS版とAndroid版の両方をリリース。
- AIくずし字認識だけでなく、認識結果修正など、さまざまな機能も搭載！

何がわかる？

- 手持ちのくずし字資料を、スマホカメラで撮影し、数秒でくずし字認識を行って、現代日本語文字を表示する。
- くずし字が読めない人にも、くずし字資料を利用する道を開く。

研究背景

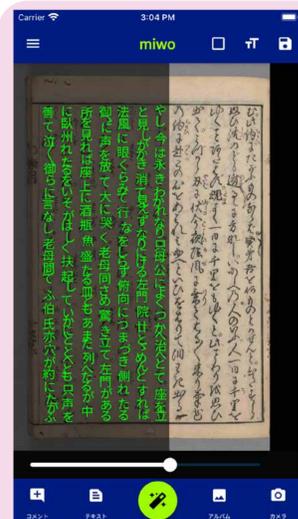


『国書総目録』に古代から1867年まで170万点の古典籍が登録されている。全国の古典籍の数は300万点ほど。古文書を含めると1億点以上。くずし字が読めないと解読できない問題。



2019年にAIによるくずし字認識モデルKuroNetを開発し、IIF画像に対するくずし字認識サービスを実現。続いて2021年、「手持ちの資料を認識したい！」というユーザーのニーズに応えるためのアプリを開発した。

研究内容



- 物体検出アルゴリズムにより、画像からくずし字を認識し、現代日本語文字に変換する。
- Flutterを用いることで、単一のコードベースでiOS、Androidの両方に対応できた。
- 2021年8月30日にリリース。これまで約5.6万回ダウンロード。
- 現在までに認識した画像の枚数は53万枚以上。



- 「みを」とは、『源氏物語』第14巻、漣標（みをつくし）に由来。
- 「みを（船の水路）を示すために立ててある杭」の意。
- 「みをつくし」が人々の水先案内となるように、「みを」アプリがくずし字資料を読むための道案内となることを目指している。
- 開発：カラーヌワット・タリン氏

「みを」のさまざまな機能



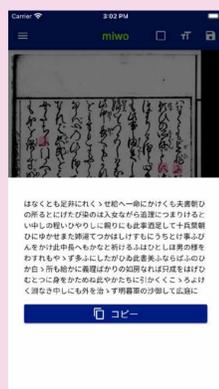
スマホカメラで資料を撮影し、認識ボタンを押すと、数秒で認識結果を表示します。



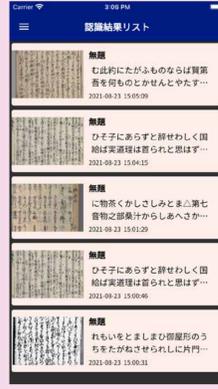
認識結果の文字に加えて、文字のバウンディングボックスも表示できます。



変体仮名の字母確認、認識結果の修正、文字検索による字形確認などの機能を用意しました。

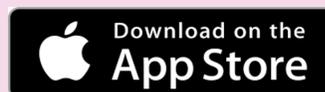


認識したテキストを出力します。またコピーボタンを押すと、他のアプリに貼り付けできます。



認識した資料、修正した結果を保存できます。また、資料に関するコメントも入力できます。

アプリダウンロード



連絡先：北本朝展 / ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター センター長
TEL : 03-4212-2584 FAX : 03-4212-2612 Email : kitamoto@nii.ac.jp